

東日本大震災復興支援チャリティ
光と音のシンフォニー

LIGHTING OBJET 8th

「光の箱」in 東北



みんな つながろう!

東北と東京のコラボレーション! 「光の箱」



2013年12月4日～2014年2月14日 お台場での展示

「光の箱」がやってくる!!

いわき

2014年3月7日[金]～3月9日[日] (点灯時間 8:00-24:00)

場所：いわき駅南口駅前多目的スペース

石巻

2014年3月10日[月]～4月13日[日] (点灯時間 17:00-22:00)

場所：松巖寺

株式会社 乃村工藝社

<http://www.nomurakougei.co.jp/>

「光の箱」in 東北



みんな つながろう!

東北と東京のコラボレーション! 「光の箱」



いわき、石巻のみなで「光の箱」をつくりました

昨年11月、いわきと石巻でワークショップを開催し、合わせて100個の「光の箱」が完成しました。東京で作ったものと合わせて400個以上の「光の箱」を、震災から1000日目の12月4日点灯し、約2カ月間、お台場に展示しました。クリスマスや冬休みの間、大勢の方に見に来ていただきました。



「光の箱」がやってくる!!

いわき

2014年3月7日[金]~3月9日[日]

点灯時間: 8:00-24:00

いわき駅南口駅前多目的スペース
福島県いわき市平宇田町1-24

ご協力 いわき市都市復興推進課



石巻

2014年3月10日[月]~4月13日[日]

※3/10 追悼式前夜祭~点灯式 3/11 追悼式

点灯時間: 17:00-22:00

松蔵寺

宮城県石巻市湊町3-1-10

ご協力 松蔵寺
NGO 魅来
笑顔届け隊



「光の箱」

光にかざすと様々な模様に変化する不思議な「光の箱」。光をミラーフィルムに乱反射させ、トレーシングペーパーに投影する「光の箱」は、子どもはもちろん大人も魅了してしまうほど美しい夢のあるアートBOXです。その作り方はとてもシンプルで、紙箱の一方にトレーシングペーパーでふたをした後、ミラーフィルムを筒状にまわって箱に詰め、もう一方の面に色とりどりのセロハンを好きなように貼り込むというもの。「光の箱」は、目でみる光という「視覚認知の構造を鮮やかに見え、光自体の存在や特徴を簡単なくみでわからせてくれる科学と芸術の接点にある作品です。

■「光の箱」考案者プロフィール

松村泰三 | Taizo Matsumura (造形作家)



筑波大学大学院芸術研究科修士課程修了。

1987年第18回現代日本美術展大賞受賞、92

年セビリア万博日本館招待出品、03年ロレアル

色の科学と芸術展金賞受賞。光を用いたワーク

ショップを各地で行うなど幅広い活動を続けている。東京丸の内12月に開催の「ライティング・オブジェ」では、「光の箱」ワークショップが人気で07年より毎年継続開催している。2012年、明治天皇百年祭開催時には被災地に思いを寄せた「光の箱」の奉納展示が行われた。

私たち乃村工藝社(東京都港区台場)は、創業時から「ひとが集まる場所」「人が楽しむ空間」を創って参りました。

2013年冬、お台場の街をイルミネーションで彩る「東北と東京のコラボレーション! 光の箱」を企画しました。東日本大震災発生以降、支援活動でつながりが深くなった福島県いわき市、宮城県石巻市のみなさん、お台場地区近隣企業・学校のみなさま、ノムラグループに呼び掛けワークショップを開催し、一つ一つどこにもない色とりどり、個性豊かな「光の箱」が集まり2013年12月4日から2014年2月14日までお台場で展示しました。ワークショップに参加いただいた、いわき、石巻のみなさんにも見ていただきたく、このたび東京より運んでまいりました。「光の箱」が東北と東京をつなぎ、「希望の灯り」となりますよう願います。